

THE Y S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



2017~2018年度 No.228

1月 月報

那須クラブ会長 主題
地域につなげ那須ワイズ

強調月間：IBC/DBC

那須ワイズメンズク



12月(クリスマス礼拝・祝会)例会 12月14日 於：日本キリスト教団西那須野教会

2018~2019年度 主題

国際会長：(IP) Moon Sang Bong (韓国)
「私たちは変えられる」

アジア地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)
「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事：(RD) 宮内 友弥(東京武蔵野多摩)
「為せば、成る」

北東部長：涌澤 博(仙台青葉城)
「チャンス到来 われら北東部から世界へ」

クラブ役員 事務局

会長：河野 順子
副会長：村田 榮也
書記：藤生 強
会計：村田・鈴木
担当主事：藤生 強
ブリテン：田村・村田

12月例会データー(出席率：100%)
在籍者 6名
例会出席者 6名 メネット 4名
コメント 3名 YMCAスタッフ1名
ユースリーダー 10名 ゲスト 19名

今月の聖句
学者たちはその星を見て喜びにあふれた。

マタイによる福音書2：10

1月 Happy Birthday

1/7 藤生 容子 メネット
1/14 藤生 強 メン
1/15 田村 暁美 メネット

巻 頭 言

鈴木 保江

子育て奮闘記たぶん第5弾

いつもお兄ちゃんばかりなので、今回は弟くん光のことを書いてみます。

光という名前は、鈴木家に光を灯す意味として名付けました。今もフィズの例会に参加していますが、何か楽しいこととかおいしいものが食べられることが参加することにつながっているのでしょうか。田村修也さんにアンパンマンのビデオを頂いたことを今でも覚えています。

小さい頃から二番目ということがついているためある意味我慢する事も多いのですが、負けていません、必ず僕も僕もと自己主張はしてきます。また、ゲームでも負けていません。最近はお兄ちゃん顔負けするくらいゲームでも勝つ事が多くなりました。

食事もお兄ちゃんより食べまくり体重が同じになりました。兄弟喧嘩でも力がついてきてお兄ちゃんは、負けそうです。今は、まだ父親と寝ていますが、もう少ししたらそれぞれが独り立ちしていくことでしょう。

家の手伝いは、光のほうが楽しんでやってくれます。お小遣いがもらえると頑張っています。そんなところが、やはり二番目なんだなあと思います。

12月(クリスマス礼拝・祝会)例会

書記 藤生 強

日時：2018年12月14日午後6時

～8時30分

参加者：メン6名、メネット4名、コメット3名、YMCAスタッフ1名、リーダー10名、ゲスト(西那須野教会関係者 潘牧師ご夫妻、大下牧師ご夫妻、八巻ご夫妻、田村メネットの友人石川ご夫妻、養徳園11名)合計43名

場所：日本キリスト教団西那須野教会

恒例のクリスマス例会を、日本キリスト教団西那須野教会をお借りして行われました。



毎年招待をしている養徳園の子ども達と先生方、那須YMCAボランティアリーダー達、会場をお借りした西那須野教会会員の方などたくさんのゲストを迎え、メンとメネットを合わせると43名程が出席をし、楽しく賑やかに行われました。

初めは教会の礼拝堂を会場に、「例会開会」と「第1部キャンドルサービス」が行われました。

「例会開会」はいつもの様に開会点鐘、ワイズソングと続き、会長あいさつではクリスマス誕生の『絵本』を披露してクリスマスへの感謝を伝えました。

「第1部キャンドルサービス」は、礼拝堂のパイプオルガンの音色に包まれながら、キャンドルに点火をして始まりました。讃美歌をキャンドルの幻想的な灯りの中で歌い、そして西那須野教会潘牧師から『神様はイエスを私たちの光としてお与えになった』というクリスマス誕生についてのクリスマスメッセージを頂きました。最後に後奏としてパイプオルガンで奏でられた「きよしこの夜」は優雅でそして壮大であり、クリスマスを迎える幸せを感じることが出来ました。



会場を教会の集会室に変えて、第2部クリスマス祝会を行いました。大きなテーブルの上にはたくさんの料理が並び、美味しく頂き、仲間との団らんを楽しみました。ゲームをしたり、クリスマスソングを歌ったり、楽しく祝会を行いました。

多くの出席者と共にクリスマスを祝うことが出来て、素敵なクリスマス例会になりました。

奏楽をしてくださった、木村真喜子さん、ごちそうを準備してくださった田村有希子さんの田村両コメットに感謝します。



1月第2例会(役員会)報告

日時：1月5日(金)午後3時00分～

場所：和厨房「遊善」

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、藤生担当主事、協議事項

1. 12月例会(クリスマス礼拝・祝会)の反省

養徳園の人たちと多くのリーダーの参加もあり、大変恵まれた例会であった。準備に携わっていただいた方々に感謝です。

2. 2月(CS公開講演会)例会

2月の役員会で協議をする。

3. 2月ブリテン発行について

4. 2月役員会(第2例会)について、

2月1日(金)午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて行う。

5. その他

- ・塩谷キャンプ場に対することを協議する。

今後の予定

・1月役員会(第2例会)

日時: 1月5日(金)午後3時00分~

場所: 和厨房「遊善」

内容: 1月例会(新年例会)の反省、2月例会(CS公開講演会)2月号ブリテンの発行、YMCA報告等。

・1月例会(新年例会)

日時: 1月5日(土)午後1時30分~

場所: 和厨房「遊善」 那須塩原市東町

会費: 1,500円

・2月役員会(第2例会)

日時: 2月1日(金)午後6時30分~

場所: ココス西那須野乃木店

内容: 2月例会(CS公開講演会)、3月例会(リーダー報告会)、3月号ブリテン発行、YMCA報告等

・2月(CS公開講演会)例会

日時: 未定

場所: 西那須野教会

内容: 高齢化社会についてパート2

講師: 河野順子会長(栃木県訪問看護ステーション協議会会長)

旧西那須野(那須西原)の緑と水(第69回)

田村修也

「那須開拓史の研究」(原文のまま)

那須野開拓史夜話

(1) 聚蘆亭異聞 印南正一

はじめに

聚蘆亭異聞は、そもそも朋友白井新平氏の矢板訪宅

訪問記 新雑誌エックス86 11月号ページ116~121にはじまる。それまで下の部屋に掛けてあった大鳥圭介の掛け軸を重用すべし、との忠告を受けた事に始まる。

曾祖父及び祖父母及び古い使い人たちの昔話の中に三条、勝、大久保、山県の四氏他数拾名が明治8年3月から5月にかけて護衛兵80名のうち30名は本宅、50名は半数は北方出張に随行、残り僅かは近所の民家に分宿した由です。

まさかこの事が明治維新を2分して終わったかも知れない 薩長軍、対東北連合軍対立が長期に亘り、早急な開催を要した全国地方長官会議が数か月経っても見通しも立たずついに明治7年8月17日東京日々新聞に政府攻撃の記事が大きくでるに至って窮地に立った大久保が勝に救援を求め、勝は本件解決にはもと幕軍の総大将大鳥圭介の協力以外に無い事を説かれ、幸に大鳥は当時外務省出仕でシャムから4月6日紀行予定につき、関係士一同と直ちに協議を決していた。

東北諸藩では既に北部日本政府の天皇に上野寛永寺の輪王寺宮公現親王を東部天皇としてお迎えすることに決まって居り南北交渉は一日を争う状況であった。此の緊急事態に対処する為には南部政府の高官たちが急遽南北境界まで出ばり北部軍首脳部と緊密な協議を必要としたことが南北境界線に当る栃木県矢板ということになったものと思われる。

始め講談社の 勝 海舟 論編輯責任者 榎野義明氏から戴いた膨大な資料のうち下野方面には明治8年のはるには全然出掛けていない由 矢板氏には時々あった。そしてしゅうじんていのおおきな額も確かに書いてさしあげた。とのことで三条実美、大久保山県有朋、大鳥圭介、いずれもが申しあわせたように、8年3月から6月4日までのブランク日誌は明治9年東北巡行を言明しておられる明治陛下には 日本2分裂の姿はあくまでも隠し通さんとしたに違いない。その証拠の一端が勝海舟日誌「中間報告」1の14頁に「明治8年に至りて、果たして保晃会挙有り。これ、上下野州人民に起こるなり、我ここにいたりて陰ぜん力をつくし、ついにその会を全くせしむるにいたり海舟は「国家の人民集合」に視点を据え「民衆協力」に機ぢくをおく。そして現実に「上下野州人民」が事を成就させたのであった。この記事を見つけ下野人はもっと視野を広く持ち自信をもって進みたいと思う。

矢板市本町のかどに古めかしい屋敷がある。矢板武翁の生家である。現主矢板玄、元三菱化工機顧問。正面玄関を入ると「聚蘆亭」の扁額がある。勝海舟

の筆になる。聚塵亭とは、塵の聚まるところの意。即ち政治家は国家の塵、真の大御宝は国民なり。即ち我等政治家の大挙あつまりたるところの意である。さすが維新の政治家、今の政治家流とは異なると私も思っていたのである。しかし、よく考え、氷川清話などと呼んでいるうちに、私は別の解釈にたたざるを得なくなったのである。

その晩年において、自邸赤坂の氷川で、齒に衣を着せず、痛烈な人物評、時局批判を行った勝海舟の人間くささ、豪快さ、分析の見事さ（勝海舟全集刊行会松浦玲論評）から推察すると、聚塵亭の意味するものは、更に深いいわれがあってもいい筈なのである。

屋敷には、この勝海舟の書いた掛軸もあり、その他にも大鳥圭介の書いた掛軸もある。大鳥圭介の書にも矢板兄に贈るとの辞がみえるので、彼もここに来た一員であることがわかる。このことは長い間忘れられていたが、ここに明治維新秘話とも思われる大胆な史観が新雑誌X誌上に発表されたのである。（以下次号へ）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
園長・理事長 福本 光男

「自分を愛する様に他の人を愛しなさい」（聖書）

冒頭の言葉は、本園の建学の精神です。本園が創立されて62年になります。子どもたちのおかれています社会状況に対応しながらも、建学の精神を含め大切な事は守り、変えるべき事は変えながら子ども達の最善を大切にしたい新しい年の歩みを始めます。

私事になりますが、毎年年末になりますと、友人の1人から炊き出しに行き来するとメールが来ます。今は日本在住ですが、彼は若い頃から50代までフィリピンに住み、現地の新聞記者をしながら、ラルッシュというしょうがいのある方たちの共同体やスラムの1つであったスモーク・マウンテンにトイレを作るなど多様な支援を行い、冬になると日本に出稼ぎに来て、明治大学、フェリス女子大、四国学院大でフィリピン経済について講義したりしていました。彼はカトリックの信徒でもありますので、その関係で保護者の皆様からの支援である使用済みの靴をフィリピンの修道院に運んでもらったり、職員のフィリピン夏期研修の道筋を作ってくれました。今年は渋谷に、路上生活を余儀なくされている方たちの年末年始炊き出しに行くとのことでした。西那須野教会でも、毎年冬の衣類や日常生活に必要な

ものを会員から集め、横浜の教会を通して横浜寿町の越冬支援に贈っています。

厚労省のデータでは、路上生活を余儀なくされている人の数は、ネットカフェ住人など潜在的な数は除いて、以前より減少してきているとのこと。自分は暖衣飽食に身をおきながらの物言いで失礼ですが、路上生活を余儀なくされている方たちが凍死されないで越冬出来、希望を失わないことを願っています。このような状況は自ら招いたという自己責任論がありますが、政治や行政の責任が大きいと考えます。さて、ネットニュースで、「日本の富裕層上位40人の資産が日本の人口の半分(6000万人)と同じ、家庭の資産が1割減」という記事を見ました。経済学者のピケティが言うように、日本も像の鼻のように格差が拡大しています。政治や行政には、北欧の高福祉国のように、どのような家庭に生まれても同じようなライフチャンスがあるような、もっと子どもたちの最善の利益のために政策を進めて欲しいと同時に園としても地域の家族支援を更に進めていきたいと考えます

(しらゆり 2019.1.8 加筆修正)

聖園那須老人ホームだより

社会福祉法人 イースターヴィレッジ
御園那須老人ホーム 施設長 赤坂 英昭
「ミート」

地域の皆さま、市町の行政担当の方々、ボランティアや教会の皆さまや関係者の皆さまの温かいご理解とご支援のおかげでクリスマスと新年を迎えることができることに心から感謝いたします。

聖園那須老人ホームのクリスマス会は22日に行われました。今年のクリスマス会には入所者43人全員が参加でき楽しいひと時を過ごすことができたことが私

高のり

と職員にとっては最高のプレゼントとなりました。

ン
入
一人一



また、24日には思いがけない、デリバリーサンタの訪問がありました。サタさんから、所者と職員全員にプレゼントと

座間キャンプのこども達からのメッセージカードが手渡され満面の笑顔で記念撮影がおこなわれました。同じ法人の児童養護施設イースターヴィレッジ、グループホーム「谷の家」、ファミリーホーム「丘の家」があり、私の出身地でもある足利市には古くから親しまれているミートサブレというお菓子があります。私は小さいころはミート「肉」だと思っていましたが、箱には「逢」（＝MEET）の文字があらわれています。このお菓子を命名したのは、意外と知られていないようですが同市出身の書家であり詩人でもある相田みつをさんであり、そこには「めぐりあい」と題された相田さんの詩も付いています。「人の世の 幸不幸は 人と人とが 逢うことから始まります」

今年も皆さんにとっても、世の中のすべての方々にとっても、良い出会いがあることを心よりお祈り申し上げます。

YMCAだより

【とちぎYMCA 3Days スクール・スキーキャンプが無事に終了しました！】

12月下旬にありました、3Days スクール・スキーキャンプが予定通り実施され無事に終了いたしました。スキーキャンプではスキーレッスンに影響が無いほど無事にゲレンデがオープンし、思う存分滑ることができました。



3 Days スクールではしめ縄作りやおもちつきなど日本の伝統に触れながら、普段は出来ない

ことを子どもたちも楽しんでいる姿が見られました。



また、1月・2月にも日帰りスキープログラムや3 Days スクールに向けて準備が進められて

います。子どもたちはプログラムの中で有意義な時間を過ごし、普段は出来ない体験をすることが出来ました。子どもだけでなく、子どもたちと向き合うことでリーダーとして共に成長することができました。

【とちぎYMCA・那須YMCAの1月の予定】

- ・1/4（金）年始ウィンタープログラムスタート冬っこ3Days@出会いの森 いちご園・鹿沼市自然体験交流センター・エーデルワイススキー場
- ・1/12（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園（クッキング）
- ・1/19（土） サタデークラブ@宇都宮動物園
- ・1/20（日） ワンデイスキー@エーデルワイススキー場
- ・1/26（土） サタデークラブ@宇都宮動物園
- ・1/26（土） ワンデイスキー@エーデルワイススキー場

ユースリーダーのつぶやき



- ①立川祐紀乃(くるむ)
- ②国際医療福祉大学 視機能療法学科
- ③茨城県ひたちなか市
- ④さわーにサタデーに誘っていただいて、参加してみて楽しかったことがきっかけです。

⑤11月のYキッズです。初めてリーダーのみんなと準備から一緒に参加できて、達成感を感じられました。

⑥眼科で働くと思います。

⑦たくさん活動に参加しようと思ってるので、これからもよろしくお願いします。

個人消息

田村修也副会長が心臓にペースメーカーを挿入する手術のため、1月16日に獨協医科大学大学に入院されます。一日も早い回復と活動への復帰を祈っています。皆様もご加禱ください。

会計よりのお願い

・後期の会費を納入ください。本部に後期の会費を納入する時期が来ておりますので。

・年賀はがきの3等年賀切手を集めております。切手に交換の上、2月中にお持ちください。よろしくお願いいたします。抽選発表は1月20日です。